

学校だより 11月号

令和5年10月31日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045(811)6710 後期課程 ☎045(811)6030

「子どもの笑顔のために人が集う」

准校長 川上 公美子

「後期では、勉強も挨拶も今以上に頑張ってお取り組み、残りの半年間、後悔のない前期課程での学習や生活を楽しんでいきたいと思っています。」「前期で学んだことを大いに生かし、一人ひとりが成長できるように邁進していきたいと思っています。」これは、後期始業式で6年生と8年生が頼もしい姿で話をしてくれた後期に向けての言葉の抜粋です。緑園学園の子どもたちは、個々の目標を掲げて、学年の後半戦がスタートしました。一人ひとりが、様々な関わりの中で学習や体験を通し、どんなことを感じ、気づき、学びを深めていくのか、子どもたちのさらなる成長が楽しみです。

毎日、登下校で子どもたちを見守っていると、あらためて緑園学園は多くの方々に支えられているなど感じます。子どもと一緒に登校される保護者の方々、学援隊、校外委員、ボランティアなどの見守り活動をしてくださる方々、どれだけの人が子どもたちや学校と関わってくださっているのだろうと考えます。少し元気のない子どもに声をかけ、学校まで一緒に登校してくださる地域の方もいます。毎日、保護者、地域の方々に「(子どもたちを) よろしくお願ひします。」と声を掛けていただき、心が引き締まります。

先日の学校運営協議会(地域・保護者等が一定の権限と責任をもち学校運営に参画する会議)では、「子どもたちのために何かできることはありませんか?」と地域の方々にうれしい言葉をいただきました。地域とともに学校を創るとは、このような心遣いから始まるのだなと感じています。現在、学校に求められている「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と地域・社会が共有し、さらに連携・協働しながら子どもたちを育てていかなければとあらためて考えます。今年度実施した全国学力学習状況調査の結果から、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思ひますか」という設問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答している緑園学園の6年生は83%(全国平均76%)、9年生は72%(全国平均63%)でした。全国平均に比べると、地域や社会に関心が高いことが分かります。今後も子どもたちが、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことができるように、地域や社会とつながる機会を大切にしていきたいと思ひます。引き続き、子どもたちの豊かな成長のために、お力添えいただけたらと思ひます。



後期課程の生徒たちが考えた文化祭スローガン「Keep Smile~笑顔が絶えない文化祭を~」に向けて文化祭では、各学年素晴らしい合唱を披露しました。スローガンに留まらず、「笑顔の絶えない学校」を、「子どもの笑顔のために集う学校」を目指して引き続き教職員一丸となって邁進していきたいと思ひます。